

# 国東中央公民館だより

発行 国東中央公民館

館長 岐部

～高齢者学級の講座～

## まだしばらくは 開催自粛を！

### 今は感染防止の徹底を

#### クラスターの発生にならないように

今年度がスタートしたものの、世界的大流行のコロナウィルス感染拡大により高齢者学級も開催できない日々が続いています。とても残念でなりません。高齢者は重篤化しやすいことや密になることでクラスター感染の恐れもあります。PCR検査が簡単にできない中で、感染してもすぐには見えない危険性に対して、感染防止策を徹底するしか方法は見当たりません。館長主事会議で提起された内容をご理解いただき、学級生の安全を最優先に考えていくことが第一と考えています。

#### 「今できることは」をなに？

第二波の感染拡大が専門家から指摘されていますが、再開されてもまた中断するかもしれません。しかし、いつ再開されてもよいように準備だけは今後しっかりとしておく必要があります。

#### □今年度の学習計画

感染防止に対応しながらの取り組み内容の工夫、学級生が今学びたいことは何か、実施できそうな講座や行事はどのような内容か、等々。

#### □感染防止の工夫

公民館での感染予防対策や新しい生活様式などに対応しながら、各館の実態に応じた取り組みの工夫を今後考えて準備をすすめていく。

#### □もし感染者が発生した場合の対応

徐々にコロナウィルス感染実態が明らかになってきていますが、やはり早めの対応が不可欠です。

①発熱・だるさ・息苦しさなどいずれかの症状がある場合、まずはかかりつけ医に連絡してから受診してください。保健所よりもかかりつけ医に見てもらわないとPCR検査ができません。

市民病院の発熱外来でもかまいません。必ず事前に電話をしてから受診してください。

②医師が診察して、感染の可能性がある人は保健所に連絡してPCR検査を実施します。検体は検査センターに送って判定します。大分城址公園の検査センターでも検査できますが、保健所に相談しないと直接には検査できません。双方翌日には結果が判明するそうです。また、念のため家族や職場の方に外出を控えてもらいましょう。

③もし陽性反応が出た場合、保健所の指示に従って濃厚接触者などに連絡を取り、2週間の自宅待機などの対応をとっていきます。そのため館長など担当者は、行事の際に必ず参加者名簿と連絡先を控えておいてください。

④簡単にできる抗原検査は、大分ではまだ実施できていないそうです。受診や予防の相談は、

東部保健所国東保健部連絡先

0978-72-1127 (24時間対応)

受診以外の相談先は

大分県庁新型コロナウイルス相談窓口

097-506-2775

### 新しい生活様式とは？ 政府資料より

- ◆基本～人との間隔は2m、症状なくてもマスク。  
帰宅後すぐに着替えやシャワー
- ◆移動～会った人と場所をメモ
- ◆生活～頻繁な手洗い、換気
- ◆買い物～少人数ですいた時間に素早く
- ◆娯楽・スポーツ～歌や応援は、十分な距離で
- ◆交通～会話は控え、混んだ時間をさける
- ◆食事～大皿を避け、横並びで座る

# 地域の人材を紹介してください！

高齢者学級などの学習会で講演できるような方が、各地区にいればぜひ紹介してください。地域の人材を活用できれば、人材育成にもつながります。分野は問いません。農業で新たな分野にチャレンジしていたり、趣味

で特技を持たれていたり、様々な分野でかまいません。紹介していただければ、連絡をとって今後の学習会で講師をお願いできるように連絡してみたいと計画しています

「くにさき人材バンクづくり」作成へ

※ 昨午高齢者学級臨時講座で市内歴史探訪も実施し、その資料も参考に作成しました。今後、各地で歴史探訪を計画するつもりです。

## 国東市を知ろう！ 学びのマップ ～ 武蔵町編 ～ 知っているようで知らない

2020年4月 国東中央公民館発行

① 吉弘神社～築庭八幡神社から車で5分ほど山道を登ったところに山城（標高182m）があり、土塁や堀の跡が見られる。築庭は定かでないが、建武年間に吉弘正堅によって築かれたと云われる。後に屋山城へ居城を移し、その後の石垣原の戦いで勇名をさせた吉弘統幸は、NHKの大河ドラマ「軍師官兵衛」にも登場するほどの武将。

① 柳川城主立花宗茂の父は、吉弘氏！～戦国武将で有名な立花宗茂は、吉弘鎮理（後の高橋紹運）の長男として生まれる。その後亡われて戸次道雪の養子となり秋月氏や島津氏との闘いなど多くの勝利を治める。秀吉が九州支配を果たした後、その実力が認められ柳川11万石を与えられ大名となる。宗茂は戦で一度も負けたことがないといわれている。

③ 築庭八幡神社～この境内で7月「吉弘祭」が奉納される。南北朝時代に吉弘正堅により、五穀豊穡や武運を祈ったのが始まりと伝えられている。国の重要無形民俗文化財に指定されている。

④ 三平方の定理で有名な末綱愨一一家跡～「ピタゴラスの定理」にわかる名前を提起した東大の数学者。生家は代々医者で、大正11年東大を卒業し統計数理研究所長を2度も務めるなど、他に先駆けて大型電子計算機システム開発の導入等に功績を遺す。

⑤ 先達歌人、滝口武士の歌碑～昭和詩を代表する大分県が生んだ詩人。明治37年この地に生まれ、師範学校卒業後中国に渡り初等教育に専念しつつ、詩人としても活躍する。戦後「九州文学」同人や県詩人協会会長なども務め、その功績を称え八坂神社の境内に歌碑がつくられた。

⑥ 樹齢約1000年の御神木（楠）～糟八幡神社は宇佐神宮の分祀で、765年神託によって御在所山に鎮座した由来の八幡。大きなご神木は県特別保護樹木に指定される。近くの照恩寺には、八幡に置かれていた国東塔が廃仏毀釈により安置されている。

◎ 今後、他町の学びのマップも計画しています。

※ 「学びマップ」が必要な時は、国東中央公民館で用意しますので、いつでも連絡をください